

保土ヶ谷東部地区社会福祉協議会広報誌

社会福祉協議会だより

社会福祉協議会
シンボルマーク

No.66

令和3年(2021年)
3月号発行責任者：堀 功生
(保土ヶ谷東部地区社会福祉協議会会長)

社会福祉協議会シンボルマークは、昭和47年、公募により、全国共通のマークとしてデザインが選ばれ「手を取り合って、明るいまあわせな社会を建設する姿」を表現しています

岩崎小学校 ～ 創立九十周年を迎えたこの一年

横浜市立岩崎小学校校長 小林 雅弘

4月に校長として着任しもう10か月が経ちました。創立90周年の今年度は4月6日に61名の新一年生を迎えスタートしましたが、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言に伴い、その2日後から5月末まで臨時休校となりました。学校再開後も修学旅行や宿泊体験学習も日数や時期、場所などを変更したり、



Balloon release

運動会を午前のみで開催したりなど、感染拡大防止と子どもの学びの保障をどのように両立させていくかを考える毎日が今も続いています。

そんな中、9月4日には90周年記念事業として、児童一人ひとりが自分の夢やメッセージを書いた風船を一齐に大空に飛ばす「バルーンリリース」を晴天のもと行うことができました。風船を拾った方々から多くのお手紙やFAXをいただくすばらしい活動となりました。12月5日には創立90周年記念式典も無事行うことができました。今後も岩崎小の伝統を大切にしながら充実した教育活動を進めていきたいと思ひます。児童の健やかな成長のため、地域の皆様のご理解ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



コロナ禍の中でも地域に憩いの場所をお届けするために

桜ヶ丘コミュニティハウス館長 宮原 美佐

「新型コロナウイルス感染症」の脅威の中での「日常」も1年以上となります。

館においても様々な変化を余儀なくされました。施設としての消毒など感染予防対策の徹底はもちろん、来館する皆様の利用についても様々なご不便をお願いする日々です。

それは、同時に「桜ヶ丘コミュニティハウス」のあり方を改めて考える機会でもありました。地域の方々が集い、つながるところ。誰でもが気軽に立ち寄り楽しめる場所であり続けること。それらはいかなる時も「変えてはならない」ものです。

様々な制限のもとようやく開館した6月以降、開館

時に導入した感染症対策は、図書の外装消毒・留め置きをはじめ、規制の緩和に関わらずほとんどをずっと続けさせていただいています。

安全の確保のため、ご不便はおかけしますが、自主事業やサークル活動、図書室の利用など、小さな館、顔のみえる館だからこそできる取り組みを利用者の皆様と続け、どんなときでも笑顔になれる場所でありたいと思ひます。



そして検温



まずは消毒



アマビエキーホルダー制作

わが街の元気な高齢者

齋藤 綾子 さん(91歳) (仏向栗の沢自治会)



好きなこと

音楽♪歌うことが好き。
他に運動も!

好きな食べ物

特にきらいなものがないので、
何でも食べます。

元気の秘訣

毎日何となく体を動かしています。
物事をあまり悪い方に考えない。

最近の出来事

コロナ以外、平穏無事です!

講演(保土ヶ谷の地質から学ぶ防災)と フルート演奏にふれて

昨年11月21日に開催されました保土ヶ谷東部地区連合自治会主催の文化事業への感想をお寄せいただきました。

毎日報道される感染者数に頭を抱え、新しい生活様式に否応なしに慣れるしかない日々の中で開催された今年度の文化事業でした。

このような時代にこそ求められる地域の力。自分の暮らす土地の理解を深め、地域社会の連携をより一層高める必要があると再認識しました。

限られた空間



の中で、久しぶりに本物の音楽に触れることができたミニコンサートは、胸がいっぱいになりました。音楽の力に勇気づけられたのは私だけではなかったはずです。

(初音ヶ丘親睦会会長 本多 知子)

総会のお知らせ

昨今の新型コロナ感染状況に鑑み、本年度総会を昨年同様、書面表決にて議決することといたしました。会員の皆様のご理解、ご了承をお願い申し上げます。

保土ヶ谷東部地区社会福祉協議会会長 堀 功生

編集後記

年が明けても感染防止が大事な生活の一部となっています。今年度は卒業式や入学式が例年通りに行われるのでしょうか。また、楽しみのお花見のできることを願っています。(E.O)

広報部部長 高橋 和代 広報部員:大関 悦夫 山本 正信
デザイン担当:東倉 俊夫

チャイルド・ユースサポート章の受章

白石 勝己 さん

保土ヶ谷区青少年指導員協議会会長
桜ヶ丘東部自治会長

チャイルド・ユースサポート章は、内閣府より表章され、子供・若者を育成支援する活動、子育てと子育てを担う家族を支援する活動を対象に、令和2年度は、



「子供・若者支援部門」で白石さんを含めて3団体2個人が受章され、「子育て・家族支援部門」で1団体が受章されました。

おめでとう!

令和2年度表彰受賞者

連 合 自 治 会

(横浜市長表彰)

永年勤続 5年(現職)
西 徹夫(帷子町1丁目自治会)
永年勤続 20年(現職)
柄丸 賢(市営岩崎住宅自治会)

青少年指導員協議会

(横浜市長顕彰)

永年勤続 15年(現職)
磯崎満利子(霞台西部自治会)
関口 和代(新初音ヶ丘自治会)
渡辺 達矢(月見台中部自治会)
永年勤続 25年以上(退任)
雨面 誠(月見台南部自治会:33年)
大浦 幸雄(岩崎町自治会:38年)

区老連東部地区

(横浜市長表彰)

永年勤続 5年(現職)
木下 勝美(富士見会)
永年勤続 15年(現職)
大西 将洋(楽遊会)

民生委員児童委員協議会

(横浜市社会福祉・保健医療功労者市長表彰)

永年勤続 10年(現職)
梅村 和男(桜ヶ丘自治会)
高橋 和代(月見台中部自治会)
吉田 亜里(主任児童委員)

永年の地域への貢献に
感謝申し上げます